

# 月々525円で 住まいの安心と 住宅資産価値向上を

住まいは、家族みんなが快適に過ごせる場所であることが何より重要です。しかし、本当にそれだけが住まいの役割でしょうか。人生で最も高い買い物といわれる住宅を、20年、30年先、それ以降も資産価値として保っていくためには、システム化されたメンテナンス計画が必要不可欠なのです。快適な住まいを提供するだけでなく、住まいの資産価値向上をお手伝いする管理会社として、皆様のお役に立ちたいと願っています。

## 「量より質」の家づくりを目指して

これまで日本の家の寿命は約30年とされてきました。右図の通り、アメリカの住宅の平均寿命が約44年、イギリスの約75年に比べ、非常に短いものです。これは一世代ごとに家を建て替えるという社会を反映したものと見えます。今後、日本は「作って壊す」の「フロー消費型」から、「良い住宅を作り、定期的に適切な維持管理をして長く使用していく」という「ストック循環型」の社会へ転換が必要となります。

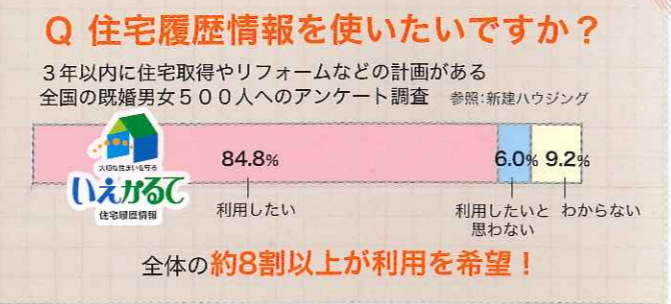
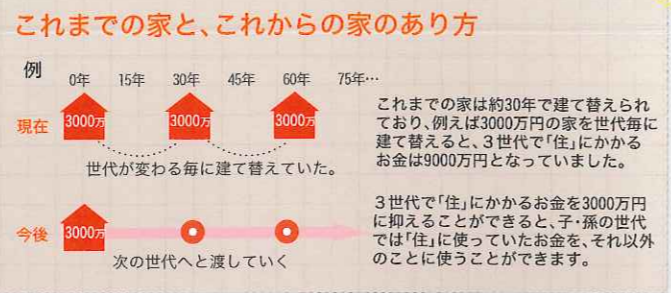
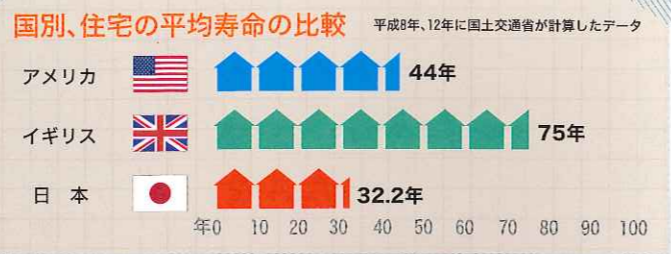
## 国が後押しする「住宅履歴情報」

家を長持ちさせるためには正しい維持管理と、「住宅履歴情報」の蓄積が大切です。「住宅履歴情報」とは、いつ、だれがどのように新築や修繕、改修、リフォームを行ったかを記録した住まいの「履歴書」と言えるものです。国も「ストック循環型社会」に向け、「住宅履歴情報」の蓄積を推進しています。また住宅履歴情報を蓄積しておくことは、資産価値を向上させる上でも必要不可欠です。



## 住まいの資産価値を守るために

正しく維持管理を行うには専門的な知識や面倒な手続きが必要となります。そこで月々525円の維持管理費で、住宅管理会社が住宅履歴情報の蓄積・更新と住まいの維持管理を担うのが「いえがるて+住まいの維持管理サービス どんどん」です。住宅所有者様の資産価値の維持・向上を力強くサポートします。



**地域の気候、風土をよく知る住宅管理会社が、大切な資産価値の維持・向上をサポートします。**

大切な家を守り、その時々適切なメンテナンスや、住宅履歴情報を蓄積するための面倒な手続きなど、専門的な知識や技術を持つ住宅管理会社へお任せください！住宅所有者様と一緒に、住まいの維持管理や住宅資産価値の維持・向上にご尽力致します！

「どんどん」は 定期点検 + 情報整理・蓄積・更新 + 報告 で  
正しく維持管理を行い、大切な資産価値を守るお手伝いをします！

## どんどの4つのサービス

**点検** 安心の定期点検制度  
■ 3年に1度、住まいの定期点検(ホームインスペクション)を実施！

家族を見守り続ける住まいの点検を3年に1度プロの手で行います。定期的に点検を行うことで、住宅の状態を把握することができ、災害時には、迅速かつ適切な復旧や補修の助けになります。

**情報整理・蓄積・更新** 情報のデジタル化で迅速対応！  
■ 一邸ごとのデータベース構築

一邸ごとに詳細な情報をデータベースで構築していきます。住宅の情報がデジタルデータとしてサーバーに保存されていきますので、毎日の暮らしの中で、建物に気になることが発生した場合、すぐにお調べして対応することが可能です。

**報告** 面倒な手続きは全てお任せ！  
■ 情報サービス機関への登録・蓄積・更新

定期点検の結果やリフォームのメンテナンス報告など、あなたのお住まいに関する情報をすべて蓄積・管理すると同時に、情報サービス機関への登録※を行います。  
※住宅履歴情報の初期登録費用(共通ID発行代金)として別途29,400円が必要になります。

**報告** 今の住まいの状態が見られる！  
■ 半年毎に定期管理報告書のご提出

1年に2回、今のあなたのお住まいの状況をご報告します。部位の劣化状況などがわかるので、リフォームの計画などが立てやすくなります。



## 「どんだん」のある暮らし

住まいの長持ちと資産価値の維持・向上を実現する未来。

